

# 令和3年度 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校 自己評価書 (附属中)

4段階評価      4 期待以上      3 ほぼ期待どおり      2 やや期待を下回る      1 改善を要する

【教育目標】 1 知徳体の調和のとれた人材の育成を目指す。 2 校訓を具現化し、21世紀を担う人材の育成を目指す。									
重点 目標	評価 項目	計画(P)		実践(D)	評定(C)	改善(A)		学校関係者評価	
		評価指標	数値目標	方策・手立て	指標 別 総合	結果の考察・分析 及び 改善策等	評定	評価コメント	
規律ある 行動と学 習習慣の 定着	生徒一人一人の学 力を最大限に伸ば し、進路実現を図 る。	①教師が授業力を磨く。 ②キャリア教育を充実させる。 ③学習習慣を確立させる。 ④学力に応じた個別指導、 補充指導を充実させる。 ⑤読書活動を推進する。 ⑥学力検討会を充実させる。 ⑦生徒の探究力を育成す る。	①授業評価が、3.5以上になるよう にする。 ②大学探訪(2年生2回)、企業探訪(2 年生1回)、職場体験学習を実施す る。 ③週あたりの宅習時間を1、2年1080 分以上、3年1200分以上(部活動引 退後1500分以上)にする。 ④SETの時間を1ヶ月あたり1時間確 保する。 ⑤生徒全員が1ヶ月あたり5冊以上読 む。 ⑥テストごとに学力検討会を実施す る。 ⑦自然科学探究を充実させ、校外の コンクールなどに出席する。	①全職員が年に2回の重点支援校訪問で 研究授業を行う。また、校内ICT活用推 進週間にICTを活用した授業を行う。 ②総合的な学習の時間(キャリア探究) を充実させる。 ③学習の意義や学び方を指導し、家庭 学習の習慣化を図る。また、宅習時間 調査を定期的に実施し、意識を高め る。 ④諸検査結果の分析を行い、各教科で 補充指導・個別指導を行う。 ⑤思索の時間の在り方を工夫する。 ⑥学力検討会を設定すると共に焦点化 を図った内容で実施する。 ⑦夏休み終盤を締切とし、コンクール に出せるように支援する。	3	①重点支援校訪問において、全職員が2回の研究授業を行った。 また、教職員同士が日常的に情報交換を行い、ICTを活用した授 業を計画的に実施することができた。 ②コロナ禍による中止・縮小の中、大学企業探訪を実施するこ うができた。また、職場体験学習の代替として各企業と他県の中学 校をオンラインで結んだキャリア学習を行うことができた。 ③家庭学習時間調査を定期的に行い指導に生かしたことで、全学 年とも週当たりの宅習時間の数値目標を超えることができた。今 後は、数値目標を達成していない生徒への個別指導に努める。 ④個別指導や補充学習のためのSETの時間を多く確保することが できた。 ⑤清泉会を中心に思索の時間の充実に努めた。教職員も支援しな がら日々の取組を定着させていく。 ⑥中学校職員で諸検査等の結果の分析を定期的に行い、授業改善 や個別指導につなげることができた。 ⑦1・3年の自然科学探究学習について全職員で指導に当たり、全 ての生徒が個人研究のプレゼン等を作成することができた。コン クール等にも積極的に応募し、全国レベルでの表彰を受ける生徒 もいた。	3.5	・教職員同士の情報交換で、ICTを 活用した授業を計画的に実施できた事 は大変評価できます。 ・コロナ禍でも積極的なアクションが とれたと思います。 ・学力を伸ばすために、オンライン授 業や先生方の取り組みが良かったで す。	
	豊かな心を育む。	①職員の共通理解と共通実 践を図る。 ②挨拶を励行し規律を守 る、素直で、さわやかな 生徒を育てる。 ③自主性・積極性のある生徒 を育てる。 ④環境美化意識の高揚を図 る。 ⑤道徳教育、人権教育、特 別支援教育、教育相談を充 実させる。	①中学校企画会議で毎回生徒の情報 交換を行う。 ②清泉会活動を充実させ、あいさつ の推進を図る。 ③生徒企画の清泉会集会を学期に1 回以上実施する。 ④学期1回、清掃徹底週間を設定す る。 ⑤道徳の時間を年間35時間確保す る。 ⑥三者面談を実施する。	①情報の共有化を図り、全職員による 共通理解、共通実践により、指導態 勢の確立に努める。 ②基本的な生活習慣の確立を図る。 ③清泉会組織の改編と活性化を図り、 生徒の自主的活動の場を設定する。 ④美化委員会を中心として清掃徹底週 間を設定し、清掃に対する意識を高 める。 ⑤道徳指導の充実に努める。 ⑥相談内容を充実させ、生徒一人ひと りの理解を深める。	3	①週1回以上の情報交換を行い、学習や生徒指導に係る共通理解 を図ることができた。 ②担当職員の指導のもと、清泉会を中心に挨拶の励行に係る取組 を充実させたことで、自分から挨拶する生徒が増えた。 ③清泉会や集会等で、生徒が企画・運営する活動等の機会を増や したことで生徒の主体性が少しずつ育まれてきた。 ④清掃徹底週間を設定し取組を充実させたことで、時間いっぱい 清掃に取り組む生徒が増えた。 ⑤学級担任による週1回の道徳の授業を計画的に実施することが できた。他の教育活動でも、道徳に関する指導を計画的に実施す ることができた。 ⑥夏季休業に全生徒対象の三者面談を、冬季休業中に希望者対象 の面談を実施することができた。	3.8	・生徒仲良く切磋琢磨できたと思いま す。	
	文武連道を推進す る。	①学校行事へ積極的に参加 させる。 ②生徒会活動を活性化させ る。 ③部活動を充実させる。	①生徒全員が、一人一役で主体的に 学校行事へ参加する。 ②清泉会集会を学期1度以上開催す る。 ③部活動加入率を85パーセント以上 にする。	①行事の目的を生徒に理解させ、事前 指導・事後指導を行う。 ②話し合い活動の場を設定し、生徒自 身に考えさせる。 ③部活動の意義を生徒に話し、積極 的に加入を勧める。	3	①教育活動ごとにガイダンスや振り返りの時間を設定し、事前・ 事後の指導を充実することができた。 ②各教科の授業だけでなく、清泉会や集会等での異学年間の交流 において、話し合い活動の場を計画的に設定することができた。 ③部活動に所属している生徒の割合が84%と昨年度と同程度の加 入率であった。また、各部で指導を工夫したことにより、これま で以上に主体的に取り組む生徒の姿が見られるようになった。	3.5	・学校と家庭の連携がうまくいって おり、文武連道がうまく出来ている と思いました。 ・入部率84%は大いに評価できま す。文武連道の推進が出来ている感 じがありました。	
	広報活動を充実さ せる。	①学校説明会等の工夫・改 善を図る。 ②ホームページ、広報誌、 パンフレット等を充実させ る。 ③積極的に小学校を訪問す る。	①学校説明会の内容を参加者の90% 以上がよいと答えるように充実を図 る。 ②ホームページの内容を1週間に1度 はチェックする。 ③北諸県地区内のすべての小学校を 訪問する。西諸県地区については、 要望に応じて訪問する。	①学校説明会の在り方を工夫し、魅力 あるものにする。 ②広報誌や学校案内パンフレットの 内容を十分に検討し、作成する。 ③1学期終わってから教頭を中心に各小 学校と調整し訪問を実施する。	3	①感染対策を十分行った上で学校説明会を2回実施することがで きた。生徒主体の説明は多くの参加者から好評価を得た。 ②学校案内を作成し、地域内の小学校等に配付するとともに、 ホームページでも紹介することで、本校の特色の周知に努めた。 また、ホームページもこまめに更新し、昨年度1年間の総アクセ ス数を上回ることができた。 ③教頭を中心に地域内の全小学校を訪問し、本校の学校説明を行 うことができた。	3.5	・ホームページも頻繁に更新されて おり、子ども達の活動がよく伝わり ます。 ・西諸県地区における本校の人気は どうでしょうか。	